

議 長

次に、高良議員の一般質問を行います。3番高良議員。

3番
高良議員

おはようございますには、少し遅い時間となりましたが、ただいまより一般質問を行いたいと思います。まず、7月の江の川の氾濫により被災された方に、まず心からお見舞いを申し上げると共に、速やかなる復旧を願っております。

それでは、通告書に従いまして、一般質問を行います。まず、本日は2つございます。

まず、1つとして「通学時の持ち物負担の軽減策について問う」でございます。去る、9月3日に文部科学省は通学時の持ち物負担の軽減に向け、適切に工夫するよう全国の教育委員会に求める方針を決め、近く通知を出すという報道にありました。小学校では2011年に施行された学習指導要領により、それまでのゆとり教育からの脱却が図られました。それに伴い教科書の大型化や厚みの増加、副教材の多様化により児童達は重いランドセルを背負い登校しています。その上、体操服を入れたバッグを背負い、更に塾の教材や運動クラブの道具を持ち運ぶ児童など、目に余る光景も見受けられます。児童の中には腰痛を訴える者もいると聞いております。子どもの健やかな成長や健康の為にも、置き勉を認め、通学時の持ち物負担の軽減を図る必要があると考えるが、本町の考えを問うものでございます。

2つ目として、「本町所有の施設、設備の点検状況と、災害時の対応を問う」でございます。近年の日本の自然災害の状況を見ると被害が過去のものよりも大きいような気がします。今年も雪、雨、洪水、地震、台風など、どれを見ても規模が何十年振りだとか、非常に強いだとか、今までに経験した事がない等の形容詞が付いています。本町においても、江の川の氾濫により大きな被害を受けたところでありました。この洪水も46年振りのものでした。他の災害も、いつ本町に降りかかってくるかわかりません。どれだけの規模の自然災害を想定して対応策をとっているのかを問うものでございます。

議 長

高良議員の質問のうち、1項目めの「通学時の持ち物負担の軽減策について問う」に対する、答弁をお願い致します。番外瀬上教育課長。

番外瀬上教
育課長

高良議員の、「通学時の持ち物負担の軽減策について問う」のご質問についてお答えします。

教科書のページ数増加などで、小中学生の持ち物が重くなっている状況を心配する声を受け、いわゆる教科書やノートなどの勉強道具を持ち帰らず、学校に置いておく「置き勉」を認めるよう、文部科学省が通知を出すという報道されました。県からの通知はまだ来ておりませんが、児童生徒は教科書の外に必要な物を持って登下校していることは事実であります。

このことについて、全国的には置き勉禁止の学校があるようですが、町内

番外瀬上教
育課長

小・中学校においては、禁止ではなく、家庭学習で使用頻度が低く、授業時数も少ない教科については学級内のロッカーにまとめて置いている状況です。また教科書の外、絵の具などの教材についても同様の扱いにしています。基本は家庭学習で使用するものは持ち帰ることを奨励し、そうでない物については学校に置いてよい指導をしています。また中学校では、自転車通学において中学1年生は体もまだ小さく、持参物が重すぎることが心配な面があるので、街頭指導や交通安全指導などを充実させ安全面の意識が高まるように配慮しています。

なお、小中学校において登下校で荷物が重く、肩や腰の不調を訴える児童生徒は幸いにもおりません。今後は国及び県からの通知を確認し、登下校の持ち物負担の意識を高め点検していく必要があると思っております。

議 長

再質問がありますか。はい、3番高良議員。

3番
高良議員

すみません。ギックリ腰なものでちょっと素早く立ち座りが出来ませんので、その点ご容赦下さい。既に出来ているという事でございますが、今バスで通っておられる生徒さんは、そうは思いませんが、今、歩いておられるので一番気がつくのが三島の生徒さんのランドセルがよく見える訳ですが、やっぱり中にはその承知しておられるようにランドセルの上に、皆さん体操服を毎日持って行ったり帰ったりするので背負う訳ですよね。そういう事と通告書にも書いておきましたが、そのスポーツクラブの道具とか、塾の道具とか、学校に行くとそのスポーツクラブの道具なんかは下駄箱の上に置いてあります。その数も数えた事もあるんですが、そういう状況でその相対的にどう考えても重いような気がする訳ですよね。私は自分の子どもが小学生だった事もあり、昔からちょっと量が多いなと思うので、度々その荷物の量の重さを量っております。それを見るとだいたい体重の2割程度の物をいつも背負って通っているような状況でした。その体重の2割というのは皆さんも想像してみてください。自分の体重の2割がどのぐらいになるか、それを背負って1キロから2キロ歩くという事でございますので、それも身体としては全体で支える訳ではなしに、2本のベルトで肩に掛かっておる訳ですから、けっこうみんな頑張り屋が多いなというのが私の印象でございました。これはうちは認めているからそれで良いのかというと、どうも子ども達を見ているとそれでは済まないような気が私としてはします。それで家の子にも聞くんですが、「何で置いて帰らんのんだ」っていうんですが、「いや、何となく入った」、とか言うような事を。それと今もありましたが、家庭で学習が必要な物は持って帰る。要は宿題ですよね。この宿題が出る教科の本は厚いんですよ。国語とか算数とか理科とか社会の教科書は厚いんですよ。学校に置いて良い音楽とか図工とか道徳とか、そういう教科書は薄いんですよ。必ず今、学校の勉強の中にはドリルがあります。漢字ドリル、計算ドリル、そのドリルだけでも何種類もありまして、結構な量になります。そういうの

3番
高良議員

があって、なかなかランドセルの中身が減らないのが実情だと思います。夏の暑い時期は水筒もこの上に持って行ったりしますので、と思うんですよ。それでこれをですね、「じゃあ、うちはしてるからそれで良いんだ」、「はい、そうですか」と言って私も終われませんので、ちょっと思うんですが、その学校側も例えば、国語、算数も社会も理科も宿題を出すんじゃないしに、自学（＝自主学習）というのはいつも宿題で自学ノートというのがありまして、自学をやるんですが、例えば今日は国語だけにするとか、次の日は算数だけにするとか、そういう体制が執れないのか。或いは学校の授業を今1時間ずつ6時間でやっていますけど、1年生は4時間とか5時間。低学年は5時間の時もあるんですが、これを例えば国語を2時間やって、算数を2時間やってというような事にすれば、持って歩く教科書が減らせるんじゃないかと私は考える訳ですが、そういう事が可能なかどうか、私のちょっと勉強不足、認識不足もあるんですが、ちょっと教えていただけませんか。

議 長

番外瀬上教育課長。

番外瀬上教
育課長

今、議員からいただきましたお話の中で、重すぎるランドセルの中を軽くするというような事で、いろんな仕組みが出来るんじゃないかという事がございます。実際の授業を組むという事は学校の方がやっておられる事ですので、私もここでどういう事が出来るっていうのが、お答え出来ないところなんですけれども、実際に今、子どもがたくさん物を持って苦勞しているという現状があるので、置き勉も学校は認めているかと思います。そういうところで先ほど言われたような子どもの負担が減るような形が出来るっていう事を学校とも相談しながら、また置き勉をやっている訳ですけども、児童・生徒は真面目なので重たい物を持って帰る事実もあるようですので、そういったところへの保護者への周知といったところへも図りながら、先ほどの負担が軽減出来るような事は考えていきたいと思います。以上です。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

是非、やっていただいた方が私は子どもの為に良いと思うんです。実際、子どもが帰って開口一番「ああ重かった」って玄関で言いますので、特に図書館で本を借りて帰った日。本を読みなさいという事で小学校は今、読書教育を推進しておりますので、本を借りて帰る訳ですが、その本をけっこう教科書の代わりのように毎日ではないですが、やっぱりそういう教育の取組をされている以上、本を借りて帰る時もありますので、そういう事を含め先ず、出来るところからで結構ですので、少しずつ替えていかないとちょっと小さい身体で成長期の子どもを上から押さえつけるようなランドセルの重さというのは、少し気になりますので、その辺の対応をよろしくお願い致します。以上で、この質問は終わります。

議 長 以上で、1項目めの「通学時の持ち物負担の軽減策について問う」の質問を終了します。

々 次に、2項目めの「本町所有の施設、設備の点検状況と、災害時の対応を問う」に対する、答弁をお願い致します。番外森川総務財政課長。

番外森川総務財政課長 それでは、高良議員の「本町所有の施設、設備の点検状況と、災害時の対応を問う」にお答えを致します。

議員ご指摘のとおり、全国各地で甚大な自然災害が発生しており、本町でもいつこれらの災害が発生するか分からない状況の中、本町所有の施設等がどれだけの規模の自然災害を想定して対応策をとっているかというお尋ねでございました。本町所有施設には、庁舎、学校などの建物や道路、水道施設などのインフラ施設など様々な施設・設備がございます。

最近整備した施設や耐震等の補強をした施設等については、近年発生している災害にも対応できるよう、整備していると考えておりますが、建築年度が古い施設等につきましては、その当時の基準に従って整備をしておりますし、老朽化により近年の大規模災害に対応できないものもあると認識をしております。それぞれの施設について申し上げることはいたしません。例えば庁舎につきましては、震度6強の地震に耐えうる、また国土交通省が想定する1000年に1度の江の川の増水で、現在の堤防を越水するような場合でも浸水しない庁舎として、平成27年度に現在の庁舎に移転をいたしました。また、小・中学校については、耐震補強工事を行って参りましたし、水道施設につきましても、老朽化した水道管の更新に合わせて耐震性のある水道管に変更をしているところでございます。しかしながら、議員ご指摘のとおり様々な、災害がございますので、町有の施設の中には、それら大規模災害に対応できないものもあると思われます。今後は、それらの施設・設備についてどのような対応をしていくのが課題であると考えております。以上でございます。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 建物については近年のものは大丈夫だと。古いものについては不安はあるという事で理解しましたが。ちょっとどのような事があるか、振り返って見ますと今年、先ず大雪でございました。この大雪があつてどういう状態だったかどうい事が考えられるかという、先ず一番最初に除雪という問題がおきます。この除雪ですが今、オペレーターの育成に今、川本町は補助を出すようにしていると思うんですが、そこまでせんといけないという事はこれはオペレーターが少ないという事だと思ふんですが、このオペレーター確保の見込みと言いますか、状況と言いますか、これは補助金を出して満足に増えるような状況にいる訳でしょうか。

議 長	番外宇山地域整備課長。
番外宇山地域整備課長	今年の冬は水と一緒に結構降りまして孤立の世帯も出たというぐらいな雪が降っておりますが、除雪の機械も1台増設しまして、各地区の方から除雪が遅いとか、未だなのかという意見は今年は特にごさいませんでしたので、今のところ十分な除雪が出来ていたのではないかなというふうに考えております。
議 長	3番高良議員。
3番高良議員	すみませんもう1点ほど、今のオペレーターの事ですが、今年は足りたという事ですが、この建設業者従事者の皆さんもだんだん高齢化が進んでおまして、その後に続くオペレーターの育成というのは出来ているような状況でしょうか。
議 長	番外宇山地域整備課長。
番外宇山地域整備課長	その点につきましては、今後、建設業協会と協議をして参りたいと考えております。
議 長	3番高良議員。
3番高良議員	分かりました。オペレーター不足になるといくら良い除雪機があっても動かせないという状況になりますので、そういう事がないように、逐次業界の状態に目配りをしてないような対応をお願いします。もうひとつ雪が降ってあるのが倒木というものがある訳ですが、この倒木によりうちの施設で何が一番被害を受けるかという、先ほどの道路の事もある訳ですが、もう1点光ファイバーの事ですよね。これが皆さんに災害時には倒木も含め情報を流して皆さんに現状なり、これからどうしますよというような今後の対応を周知してもらうために使う訳ですが、これが倒木等により断線等々の被害が出るのではないかと危惧しておる訳ですが、その辺はどう考えておられるでしょうか。
議 長	番外杉本まちづくり推進課長。
番外杉本まちづくり推進課長	光ファイバーでございますが、今現在は概ね中電柱とNTT柱に共架がして各家庭に行っておるという状況でございます。光ファイバーについては線について、螺旋状のワイヤーが巻いてございまして、一定程度の保護は出来るという事になってございます。当然、冬期には倒木もございまして、今まで倒木によってワイヤーが切れたという事例は今のところはないという状況

番外杉本ま
ちづくり推
進課長

にございます。線の方が逆に強くて電柱が抜けるようでも線は切れないという状況にございます。それから今回の西日本豪雨で各地に被災が起きた訳ですけれども、そういったところにおいても今のところはそういった断線というものは各家庭に下りているドロップは多少影響を受けるというところがありますけれども、そういった影響がないというところ。ただ光ファイバーでやっておる告知というものは電気が繋がらなければ当然、放送が出来ないという事になりますので、停電時にはそれが機能を活かされないという事になってございます。その為に防災に関する情報というのは町の防災無線と、これは電池でも稼働するというものでございますが、そういったものが設置してあるという状況にございます。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

防災無線ですが、この防災無線は全戸に配置してありますか。また、その感度の悪いところは無いですか。

議 長

番外森川総務財政課長。

番外森川総
務財政課長

ご質問の防災無線が全戸に配置されているかという事にございますけども、実際にはですね、全戸には配置されていない所はあろうかと思えます。ただ殆どのご自宅には配置するように順次、手配を致してはおりますけれども、若干まだ配置されていないところは確かにあろうかと思えます。もう1つの質問は何でございましたかね。「入りが悪いところはないか」と高良議員の声) 入りの悪いところもですね、若干あったりしまして、それについては防災無線を取り付ける時にアンテナを付けたりをして入れるようにはしておるんですけども、中でもやはりこういう放送があったんが入りにくかったよというところは、そのお電話をいただいた後に業者と一緒に行きまして、その状況を見て必要に応じてその新たなアンテナをですね、室内アンテナではなくて、外に付けるようなアンテナも付けて対応出来るようにというような形は、今とらせていただいております。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

分かりました。その、まげなねつとが使える時は確かに防災無線よりはまげなねつとの方が聞きやすいのはあるんですけど、そのまげなねつとが停電等で使えない時は防災無線が頼りになりますので、その辺の未だ未配布、未設置のところとか、感度の悪いところは順次解消していくようお願いしておきます。このちょっとまげなねつとの光ファイバーなんですけど、今回、補正予算に移転の経費があがっておりますが、課長に確認したらその中電柱とかNTT柱の建て替えに伴っての移設だという話は聞いた訳ですけど、これは

3番
高良議員

ちょっと関係ない話になるんですが、私が個人的に考えるのに、その中電柱とかN T T柱はコンクリートであれだけ重たい線を添架しておりますので、揺れ等による必ずコンクリートの劣化破断というものに対する対応をしなければならなくなりますので、建て替えというのが常についてまいります。うちは光ファイバーは簡単な鉄の円柱形の電柱でやっておりますので、うちは光ファイバーの線が軽うございますので、私が思うには共架をしてもらうと共架も係っていると思いますので、それよりはうちは独自で電柱を建てて線を張っておいた方が、倒木等があった時も上の中電さんとかN T Tの線で倒木は止まって、うちの線は安全だというような、ちょっとあんまり良い考えじゃないのかも知れないが、そういう事も考えられますので、私としては光ファイバーの電柱はうちの町で独自で建てていった方が良いのではないかなと思っております。

次ですが、台風等の風につきましても、だいたい倒木等、後は飛来物による断線とかそういう事が考えられますので、これもさっきと似たような事にはなるんですが、この近年の海水温の上昇を見ておきますと、台風は衰えずにまたこの本土、日本に迫ってくるという状況でございます。いつ何時この大風を伴って大雨もあるんですが、その台風が来るかも分かりませんので、そういう事も含めて対応をとっておくと。飛来落下物は、これはなかなか飛んでみないと分からないところはあるんですが、これはきたら飛ぶなと思えるような物は、目に付いた時点で善後策をとっておいた方が良いのではないかと思います。

次に、本町に一番影響が出るのが、今年もありました洪水問題です。最近は何と言いますか、どこの雨を見ても線状降水帯という雲が来ております。坂町あたりを見ましても南西の方向からあの時もずっと真っ赤な線がずっと掛かっておりました。そういう状況がこの川本町にも起こる可能性が全くない訳ではないですから、過去にも時間雨量が非常に大きな雨があって、災害が出た事もございます。そういうこの度の川本町の災害においても未堤防地区ですよ、堤防設置がされてないところは、ご承知のようにたいへんな被害を被られました。ちょうど私が4年前のこの9月議会で堤防設置を早くお願いして欲しいという一般質問をしました。とうとう災害が起こってからになってしまいました。この堤防というのは先ほど2番議員さんの一般質問の中に、堤防は暫定だと、これからもっと大きくするんだという話がございましたが、これはだいたい今からお願いする話で、その具体的な計画は未だないんでしょうか。

議 長

番外宇山地域整備課長。

番外宇山地
域整備課長
議 長

具体的な計画は、未だございません。

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員 具体的な計画はないが、大きくする考えはあるとりましたが、そうした時に将来大きくなる時に、これは安全のためですから大きくはいつかはなるんでしょうから、そのJR跡地をうちは活用しようとしておる訳ですが、この活用計画に対しては、ちょっと本題とはズレるかも知れませんが、それが国交省の堤防の改築が影響を及ぼす事がありますか。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 昨年、JRの跡地の取得をどうするかという時に、議会でも報告をさせていただきましたけども、道路化をするという案を示させていただいたところがございます。そういった事が新聞報道された時に国交省からも実はお越しになられております。暫定堤防という言葉が出ておりますけれども、実際に三江線の影響であったかどうかは分かりませんが、今の堤防の川本弓市の堤防はですね、本当は本来であれば堤防がもうちょっと傾斜が緩やかでないとならんというものが、勾配がきつい堤防であるということと、実際に国交省が検討しておる水位に耐えうるというものになっていないという指摘がありました。それは国としても何とかしなければいけないという事でパラペットを付けるとか、そういった計画はしていかなきゃいけないと。町がそういった三江線の跡地を活用して、仮にですね道路化をしていくというような事が進んでくれば、これは国の方にも相談をして下さいという事で受けておりますので、ただそれは国に相談したから直ぐ対応されるかどうかという事は別として、一定程度、国の方もそこら辺の理解はいただいておりますというふうに思っております。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員 堤防については分かりました。その確かに内側の勾配が本来の堤防の勾配よりきついのは確かです。堤防は勾配が決まっております、それよりはきついという認識はしております。分かりました。それでですね、大雨で堤防は無堤地区の堤防は早く作っていただくようお願いしていくという事ですが、今、坂町辺りを見ますとここらと同じ真砂土で、ちょっと真砂の種類は違いますが、風化花崗岩という事で土石流があれだけの被害を起しております。この川本で土石流が起こる可能性。土砂災害警戒区域は全部入っておる訳ですが、中でもその土石流というものが起こる可能性がある所は何処かという所が把握されているのか、或いは無いのか。ちょっとその辺が分かればお願いします。

議 長 番外森川総務財政課長。

番外森川総 議員ご質問の土石流が発生する場所があるかというところがございますけ

務財政課長 | ども、先ほど仰ったように土砂災害の警戒区域というのが全町にございます。またですね、土砂災害の特別警戒区域というのも調査の方は、既に終わっております。最初のその所謂、警戒区域より少しは狭まると思いますけども、だいたい同じような場所にそういうものがあるというふうな調査は終わっております。そういう調査があるところにつきましては、そういった土砂災害が起こる可能性は十分ある傾斜の山等であろうと思いますので、あとは土石流があるという事でありまして、その上流の沢とか、川とか、そういった物との関係があるかと思います。今、具体的にどこがあるかというのは私も申し上げる事は出来ませんが、全くない事はないというふうに思っております。そういったところには今、事前に治山の堰堤とか砂防ダムとか、そういったものが建設をされておりますので、そういった候補地については順次ですね、県の方にもお願いをしてそういったダムを建築してもらうような建設してもらうような対応をとっていきたいというふうに考えております。

議 長 | 再質問ありますか。3番高良議員。

3番 | 確かに崩れやすいところには治山ダム、砂防ダムが有るのは有るんだと思
高良議員 | いますが、あれが有るからと言ってそんなに安心できるものではないと、私は思います。中の水通しはけっこう幅がありますので、そこを土砂が通って水と一緒に流れてくることは可能で有るし、その堰堤の水通しからの高さというのはそんなに3メートルも5メートルもあるもんじゃございませんので、土砂がそれが乗り越える可能性も全くない訳ではありません。今みんな山の治山堰堤等々の中が埋まって、水通しと中の堆積土砂が同じ高さになっておりますので、何かあった時は私の個人的な感覚では乗り越えてくると思います。じゃあどうして防ぐかという事ですが、その避難勧告、避難指示、避難準備情報。その水害に対しては確かに今回も早く私は出されたなと感じた訳ですが、その予定される雨量で土砂災害が予想される雨量になった時には、そういう土砂災害に対する避難勧告も私は出される必要があるのではないかと考えます。今どこがどういうあれか分からないという事でございましたので、これは逐次、調査をしていただいて、ここが一番危ないなと言うそういう地区の方には、なるべく早く多い雨量が見込まれる時は避難勧告を出していただくような対応をして欲しいと思います。

次ですが、次怖いのが、この度も北海道でありました地震でございます。この地震というのが、これが逃れるとかがございますので、何から何までになる訳ですが、先ず、これ一番怖いのが水道施設の破損という事が考えられます。現在も北海道の方でずっと断水で大変な目に遭っておられますけれども、本町の水道施設の配管の耐震というのはなかなか昔のものもあって分からないかなとは思いますが、そのだいたい震度でいうとどのぐらいまでは耐えられると思っておられますでしょうか。

議 長	番外宇山地域整備課長。
番外宇山地域整備課長	水道の管につきましては、常時、耐震性のあるものに変更をしております。現在、川本町でも使われております管につきましては、阪神淡路大震災の震災をもとに、それに耐えうるものとして配管をされておりますが、先日その後にありました東日本大震災でも、その水道管の方は被害を受けていないという報告もありますので、本町が地震があった場合でも、本町の管につきましては一部未だ更新していないところがございますが、更新してあるところにつきましては大丈夫ではないかなという推測はしております。
議 長	再質問ありますか。3番高良議員。
3番高良議員	はい、分かりました。この水と電気というのは何をしましても無いと大変困るので、この度は水害で浸かるという浸かって止まるという、これについてはいろいろ思うところはある訳ですが、この場では言いませんけども、そういう事もありました。水が無いというのは非常に不便でございます。そういう事で水道施設の補修及び災害時に何かあった場合の復旧の対策というのは、常に早い対策が取れていち早い給水が出来るように対応して欲しいと考えております。ちょっとあれですが川本町には液状化という問題が想定される場所がございますでしょうか。
議 長	番外森川総務財政課長。
番外森川総務財政課長	液状化が起きるかどうかという事でございますけども、ちょうどですね、気象庁と先日現場の方を確認したところでございますけども、今、中倉に気象庁の雨量計がございます。もし大規模な災害が起きた時にですね、その雨量計が使えなくなった時に仮設と言いますか、仮に建築をする雨量計をどこかに設置したいというところを現場を確認しましょうという事で廻らせていただきました。その時には大規模地震があった時には、この江の川沿いにはそういった液状化が起こる可能性があるという事を気象庁の方は申されておりましたので、私もどういう形になるかという事は全く分かりませんが、できれば気象庁としてはそういった時には江の川沿いに仮のものを置くという事は出来ないで、ちょっと離れたところに置きたいというような話をされておりましたので、そういう可能性はあるのではないかというふうに思います。
議 長	はい、3番高良議員。
3番高良議員	川本、皆さんもご承知とは思いますが、町内全てですね、加藤病院或いは日の出から下は地下水が非常に高く、どこを掘っても直ぐ水が出ます。そ

3番
高良議員

ういう状況にあります。いちばん固いのは東光台だと思います。そういう状況ですので、当然そういう液状化という現象が起きれば水道管がいちばん、下水管と水道なんです、町内は下水はありませんので水道管が先ず影響を受けます。予算の事もあるのでその専門的な調査はなかなか出来ないのかも知れませんが、出来ればだいたいこの地盤の土質と含水比で震度がどのぐらいで、その液状化が起こるといのは分かると思うので、調べられた方が私は良いのではないかと思います。水道はこれでおきますが、橋は町道の方ですが、橋はこの間、橋の点検をされて悪いところは改修していくというような取組をされておりますので、橋は多分、町道で大きな橋もありませんので、大丈夫であろうと思いますが、橋というものがやっぱりその地震に対して耐震化はされておらんのですよね。町道の橋は。ちょっとその辺の確認だけ。

議 長

番外宇山地域整備課長。

番外宇山地域整備課長

国の補助金を使いまして、橋の方の耐震も現在、調査を行っております。一通り町内の橋につきましては、調査を終わっております、概ね問題なしという事で報告をいただいております。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

はい、分かりました。大邑農道^{だいお}の橋も耐震化されておりますので、あとは町道はそんな大きな橋はありませんので、分かりました。もうひとつちょっと地震で気になるのが、今回、北海道の地震を見ましても山があれだけ地すべりと言いますか崩れておる訳ですが、川本町のその地すべり地区というのはだいたいどのぐらいある訳でしょうか。

議 長

番外宇山地域整備課長。

番外宇山地域整備課長

現在、川本第2期地区という地区でやっております。絵堂、莊厳寺、三原、南佐木、古市、田窪東、上組北、以上7地区で地すべり対策を行っております。進捗状況につきましては、平成30年度、本年度の工事が終わった時点で、約79%という状況になっております。

議 長

再質問ありますか。はい、3番高良議員。

3番
高良議員

これは、地すべりの警戒地区は、7地区しかないと理解して良いんですか。

議 長

番外宇山地域整備課長。

番外宇山地域整備課長	今現在、対応している地区が7地区というところで、既に対応が終わった地区もございます。
議 長	3番高良議員。
3番高良議員	例えば、今言われた7地区以外は、その地すべり警戒区域ではないという事でしょうか。
議 長	番外宇山地域整備課長。
番外宇山地域整備課長	失礼します。現在、行っている地すべり対策の資料しか持っておりませんので、既に終わっている地区が数地区あるという事を聞いておりますが、ちょっとここに資料を持っておりませんので、ちょっとお答えする事が出来ません。
議 長	3番高良議員。
3番高良議員	<p>私がお聞きしたのは、現在、対応をとってそれで何%終わっているかという事ではなしに、その川本町の中で全体で地すべりに警戒しなければいけないところが、どのくらいあって、その中で工事を掛かったのが今の7地区なのか、全体で7地区しかないのか、それが今、分からないのであれば、また後で結構ですが、そういう事も把握していく必要が、いざという時の対応をするためには必要であろうと思いますので、そういうところの対応も抜かりはないようお願いしたいと思います。</p> <p>次、建物ですが、地震がくると建物の倒壊というのが必ずついて廻る訳ですが、この川本町の町有施設で今、町の方で地震がくると拙いと思われる建物がありますでしょうか。</p>
議 長	番外森川総務財政課長。
番外森川総務財政課長	ご質問の建物、地震がきた時に倒壊するような恐れがある建物という事でございますけれども、確かに未だどう言いますか利用していないような建物で老朽化しているようなものにつきましては、倒壊する恐れがあるかと思えますし、危険なものもあろうかと思えます。
議 長	はい、3番高良議員。
3番高良議員	前にもだいぶ前ですが一般質問した事があるんですが、例えば金比羅さんにある旧老人センターですよね。これもある理由で解体出来ないという答弁は受けておる訳ですが、とても外見安全なようには見えません。そこにある

3番
高良議員 旧商工会の建物ですよ、これも結構古い物だと聞いておりますが、この川本町の建物の中で、例えばそういう補助金の絡みとか何らかの絡みで解体しようにも出来ない古い建物というのはだいたい何棟ぐらいあるんでしょうか。

議 長 番外森川総務財政課長。

番外森川総務財政課長 大変申し訳ございません。ただ今ですね、ちょっとその数字についてはちょっと今、手元に持っておりませんのでお答えが出来ません。申し訳ございません。

議 長 3番高良議員。

3番
高良議員 分かりました。それでしたら例えば今後、調査されて例えばこの建物は危ないとか、耐用年数も過ぎていると。地震がきたら危ないと思われる物には、この建物は地震時に倒壊する恐れがありますというような注意書きを建物に付けておくような事は可能でしょうか。

議 長 番外森川総務財政課長。

番外森川総務財政課長 建物調査につきましては、やはりしなければならぬと考えておりますので、どのような状況かというのはやっていく必要があるかと思っておりますけれども、それが倒壊する恐れがあるかどうかという事につきましては、その調査をした後にまた考えさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員 当然、調査が終わった後の事です。調査が終わってそれが分かれば、当然うちの解体していく順番も決めなきゃならないし、そういう事で調査をされると言うんですが、その調査が終わった後で結構ですので、皆さん地震がきた時にあれは倒れるかも知れんという気持ちがあるのと全然無いのとでは、その近くにおられる方がその建物の方へ地震の時に逃げられて倒れ崩れてきてもいけませんので、そういう対応を是非執っていただきたいと思っております。町長の行政報告の中にも、その皆さんが幸せに暮らせる町ですか、ありましたよね。そういう時の為にも災害で心を痛めるような事ではいけませんので、その町長の言われた内容がちょっと具体的には見えていないところもある訳ですが、そういう事も含んでいるんだろうなと思っておりますので、いざ災害が起きた時に町民の皆様が慌てないように、それから安全が守れるように日頃からその点検とか予測をするという事を予めやっていって欲しいと思っております。

3番
高良議員

それを特にお願いして、やはりシュミレーションが出来ているものと出来ないものには対応が随分違いますので、その辺をしっかりとお願いして、私の一般質問を終わります。

議 長

以上で、2項目めの「本町所有の施設、設備の点検状況と災害時の対応を問う」の質問を終了します。

々

これをもちまして、高良議員の一般質問を終了します。

々

ここで、暫時休憩と致します。
再開は、午後1時30分より再開を致します。

(午後 0時27分)